

会 議 録

会議名	第25回まちづくり委員会		
開催日時	平成22年2月10日（水）午後7時00分～9時00分		
場 所	消防署小会議室		
出席者 (敬称略)	(委員) 垣内勝司、根橋久子、三堀善業、牛丸喜美子、倉田英勇、原美子、降旗譽男、赤羽武榮、小澤一智、山寺恭子、中谷一美、小林代治、熊谷久司 (町) 宮原(修)、宮原(利)、殿内	出席人数	
		委 員	13人
欠席者 (敬称略)	(委員) 遠藤清文	町	3人
		計	16人
会議次第	1. 開 会 2. 委員長あいさつ 3. 協議事項 (1) シンポジウムの開催について 4. その他 5. 閉会		
資 料	(配布資料) 次第、タイムスケジュール・レイアウト(両面)、回覧文書、感想記入用紙		
会議結果	○シンポジウムの開催 ○提言について ○次回委員会 平成22年3月11日(木) 午後6時30分～		
発言者	発言の内容		
副委員長	開会		
委員長	<p>私達の任期も3月までという中で、シンポジウムの準備を事務局にご苦労いただき進めてきました。回覧板についても、B委員に作成いただきました。先日、講師とシンポジストの皆さんにご出席いただき、打合せを行いました。既にその場がシンポジウムのような形で時間が経つのが早く感じました。要望等もありましたので、準備はしっかり行き当日を迎えたいと思います。PRを行い過ぎということは有りませんのでそれぞれPRをお願いします。まちづくり委員会の残りの期間についてもご意見いただきたいと思ひます。</p>		
委員長	事務局から経過説明をお願いします。		
事務局	資料確認		
事務局	<p>前回のまちづくり委員会で協議した内容について講師に報告しました。①の自己紹介では、個人の方の思いやきっかけをつよく伝えたいという事と、視覚的にもプロジェクターを使用して写真4～5枚を投影する事となりました。②成果発表は問題点をだしていただき、シンポジストの皆さんの活動が必ずしもスムーズにすすんでいるのではなく、問題点もある事に焦点をあてる事としました。問題点の話も出しつつ③フリーディスカッションを進め、④の今後の展望につなげていく事となります。シンポを先生にまとめていただき、手引書の発表を委員長に行っていただく事となりました。商工会女性部の関係で地域活動センターにて製造しているうどん等の販売を行うことになりました。資料は講師や各団体からいただき、その部分を皆さんにお配りする事となりました。</p>		

委員長	本日新聞社へ依頼に行きました。また、感想記入用紙について、シンポジストやコーディネーターの方から、要望がありました。活動には、人がいなければ始まらないという部分で、関心のある方には氏名・TELをご記入いただく事となりました。手法として、視覚的にという部分で、プロジェクターを使用し、レイアウトは資料のとおりです。テーブルも2人掛けになっていますが、3人掛けが良いと思います。従来では行政主体で行いましたが、基本的には委員会が主催ですので、依頼を行いました。既に長野日報に掲載があったようです。手引書についても最後に発表する事になりました。また、開会式は短めに中身について時間をとることとしました。
委員長	スケジュールについて詰めたいと思います。
A委員	当日社会福祉の関係で、つどいがあります。準備員の間関係もありますので、午前中の準備は手伝いできますが、途中で抜けて1:30頃であれば、また合流できます。
事務局	今A委員から話がありましたが、20日に福祉教育のつどいが行われ、老人福祉センターで開会式を行い分散交流を行うことになっております。開催が1月に解り、日程について検討を行いました。日程変更は行わない事となりました。シンポジウムの周知については、全戸配布・広報辰野・ボランティアセンターに依頼し送付していただきました。準備については、皆さんが出席できれば集中して、12時頃からできればと思います。
委員長	それでは、12時に委員集合をお願いします。
委員長	マイクやプロジェクター・PC等の準備していただくようお願いします。基調講演の場所は正面が良いと思います。シンポジストの机は横に置いて下さい。
委員長	司会はいかががいたしますか。
A委員	司会は女性が良いと思います。
委員長	司会はI委員をお願いします。主催者のあいさつは私が行いますが、ねらいと進め方、講師兼コーディネーターまで含めて行います。
委員長	プロジェクターを使用する際に照明を落とします。それは委員のどなたかで対応をお願いします。
委員長	フリーディスカッションの際に、マイクが2本なので委員でマイクを届ける役をお願いします。
B委員	正面に次第を貼り付けるよう作成をお願いします。
副委員長	開会の言葉は必要ですか。司会の方に開会も兼ねていただければと思います。
委員長	開会は別で副委員長をお願いします。
委員長	受付も2人から3人必要だと思います。
副委員長	進行表の中で休憩時間の設定がありませんが、基調講演が終わったところで、机を動かしたりする時間がありますので、10分弱で良いので休憩を入れたほうが良いと思います。
事務局	基調講演とシンポジウムの中に、休憩を挟むか講師に確認します。
委員長	垂れ幕はどこに貼り付けますか。
事務局	まず「協働のまちづくりシンポジウム」の横断幕をステージ正面に貼り付け、先生の演題等を正面右側に貼り付けるつもりです。
委員長	シンポジストの団体名や肩書きは必要ないので、名前の垂れ幕を作成をお願いします。
事務局	並び順は講師に確認します。
事務局	町民会館の外にも立看板が必要だと思いますので、作成します。

事務局	受付は名前や住所どこまで必要ですか。
A委員	今はどこでも書くと思います。
委員長	アンケートについて内容はいかがですか。
C委員	自由記述だけでは記載いただけないと思います。
A委員	項目を入れないと難しいと思います。良かった点について何が良かった程度の自由記述でなければ難しいとおもいます。
C委員	シンポジウムが参考になったか、ならないか程度で良いと思います。
D委員	それについて自由記述があればと思います。
委員長	シンポジストの方それぞれ、人材不足について打合せで話をしていました。その中で、アンケートの下に氏名や連絡先を記載していただければと話があり、入れました。
D委員	もう少し丁寧に書いた方が良いと思います。協働のまちづくりには多くの方の参加が必要ですので、参加できる方がいればご記入をお願いしますといった内容で良いと思います。住所や名前を書いていただくには、丁寧に記載が必要かと思います。
E委員	まちづくり委員会は3月で任期が終わる中で、アンケートをとって今後どのようにするか不安ですが、有効に活用する為には、何に参加できるのかははっきり記載していただき、紹介をするような形で良いと思います。
事務局	先日の打合せで、協働のまちづくりに参加したい方がいる中で、紹介するような事ができればといった発想で付け加えました。
A委員	逆に名前を書かずに、シンポジストの電話番号を記載し、お問い合わせ先とすればと思います。
副委員長	最後の紹介の中で、手引書のお問い合わせについて、十分周知すればそこに繋がると思います。シンポジストだけに偏ると不公平感もあるので・・・
委員長	名前については難しい部分があるので止めましょう。
A委員	これはシンポジスト全員の意見ですか。
委員長	全員ではないですが、ひとまち懇などで話が出ました。
B委員	本日のシンポジストや他の協働のまちづくりを実施している団体に協力していただける方を望んでいますので、手引書のお問い合わせ先へ連絡いただければと思いますといった形でいかがですか。
委員長	それでは、氏名は入れず、手引書の説明の中でお問い合わせ先を紹介するような形にします。
A委員	プラスしてシンポジストの活動に協力できる方は、会終了後に直接話をしていただければと思います。
委員長	それでは、変更いたします。
副委員長	こういった会を行う際に、花を飾ります。また、講師やシンポジストに飲料を用意していただいた方良いと思います。その予算は出していただけますか。
事務局	予算については、大丈夫だと思いますのでよろしくお願いします。
A委員	本日も1時間程会場を使用し座っていましたが、立てないくらい足が痛くなります。1時間に1回程度体操などを入れたほうが良いと思います。
E委員	それに関連して会場の後ろに椅子を置いていただくようお願いします。
事務局	確認ですが、当日出られない方は、D委員でA委員は途中から出席という事ですね。受付は、E委員と他はどなたに頼めばよろしいですか。

委員長	E委員、C委員、G委員で対応し、皆で臨機応変に対応しましょう。
事務局	確認します。委員集合は12:00で、受付はE委員、C委員、G委員で、司会はI委員をお願いします。開会の言葉は入れますか。
委員長	開会は司会が言えば良いと思います。閉会は副委員長をお願いします。
事務局	それでは主催者あいさつの前に司会の方で開会いただきしたいと思います。主催者あいさつ・本日のねらいと進め方・講師兼コーディネーター紹介を委員長をお願いします。基調講演とシンポジウムの上に10分弱程度の休憩を入れ、シンポジウムの最中も1時間を目安に体を伸ばすような体操を入れる。プロジェクターを使用する際に照明をどなたかに落としていただきます。最後に委員長より手引書について紹介いただき、閉会は副委員長をお願いします。
E委員	資料はどのようなものがありますか。
委員長	資料についてはワンセットにして渡します。
事務局	様々な資料がありますので、ワンセットは厳しいかと思いますが、内容は講師より、地域づくり考房『ゆめ』のパンフレット・地域づくりコーディネーター要請講座のパンフレット・対談の新聞コピー、垣内さんからは資料を兼ねた写真、商工会女性部からは写真とレシピ、ひとまち懇さんは、まちこんニュースとパンフレット、沢底からは近々出てきます。手引書と、感想記入シートですね。封筒に入れたほうが良いですか。
D委員	最近は入れないと思います。
委員長	入れなくて良いと思います。
D委員	アンケートを回収する箱を用意して下さい。
事務局	了解しました。
委員長	以前から話が出ていますが、この委員会の最後のまとめをどうするか皆さんのご意見をいただきたいと思います。
D委員	まちづくりシンポジウムの反省会を行いますか。
委員長	シンポジウム終了後に反省会を行います。後になると難しい部分もあるので、その前にある程度方向付けをしたいと思います。
A委員	今委員長が発言しているのは、3月で任期が終わりその後どうするかという事ですね。
B委員	要するに幕を引くかということですか。
委員長	そうですね幕を引くときに、いくらか余韻を残すかですが。
委員長	現在5次の総合計画においても審議会があり、既に委員会も1度開催しているようです。
A委員	シンポジウムをやりっぱなしというのも責任感が無いと思いますし、それを見極めるにしても時間が無いですし・・・
委員長	手引書やシンポジウムを行いました、地域力を上げるため、協働のまちづくりを進める為に委員会を是非存続していただきたい、といった例も一つですが、そういった形で残すのか残さないのか、どうしますか。
D委員	まちづくり委員会でシンポジウムを開催し、反省をする中で、今後まちづくり委員会をどうするかについての提言が必要だと思います。
A委員	それか解散して、もう一度別れて実施していくか。やめるのは無責任だと思います。
D委員	町ではまちづくり委員会は今後続けて行くつもりですか。
委員長	行政側が一切考えないという事であれば、それまでだと思います。

C委員	3月31日で任期は切れますが、設置要綱を見ると調査研究とまちづくりを進める上で の提言を行うことになっているので、シンポジウムを実施し、提言書を渡せば終わりだ と思います。
A委員	それを作って提言書を提出すればよいと思います。
委員長	継続して委員会は是非開催して欲しいといった内容で良いと思います。
C委員	まちづくりを進めて欲しいといった提言を行わなければならないと思います。委員会をどうこう といった話ではないと思います。
F委員	アンケートの集約は事務局で行っていただけたらと思いますが、それが参考になると思い ます。一般の方達が来る中で貴重な意見があると思います。
事務局	20日にシンポを開催し、反省はその日に行い、3月までにそのまとめをしていただく。 3月31日の任期までに提言をするという事だと思います。町としては第5次総合計画 を策定するに当たって、協働のまちづくりはかなりのウェイトだと思います。審議会等 で検討しますが、まちづくり委員会としても意見の検討を必要とすれば公募などしてい きたいと思います。委員長が発言した、委員会としてどのような考えがあるか出して いただきたいといったことだと思います。先程C委員、D委員が言われたとおり、2年間 の中で手引書を作成し、シンポジウムを行ったのでそれを基に最後の提言をまとめるこ とが任期だと思います。
委員長	委員会を開く、開かないは別問題で、やってきた事を踏まえてまちづくりに活かしてい ただきたといった内容であれば、3行程度の提案で良いと思います。
D委員	シンポの反省が出てきたら、2月中くらいに事務局でまとめて、3月の初めまでに委員 へ郵送していただき、次回3月の委員会までに各自検討していただいた上で、委員会で まとめれば良いと思います。
B委員	会議を1回にするのであれば、会議の前に提言内容を事務局へ送付し、事務局でまとめ ていただいた上で、次の委員会で検討すればと思います。
委員長	あるいは、先程C委員からお話がありましたが、総括的に委員会を進めてきた事と、シ ンポジウムについての結果を並列的に並べておいて意見を踏まえて、行政の執行やまち づくりに活かしていただきたいといった形で提言になればと思います。
A委員	詰めてできないと思いますので委員長が言った内容で良いと思います。
委員長	シンポジウムの意見も実際にでた名前の声を提言書へ反映すればと思います。
D委員	生の声を提言書に入れるという事ですか。
委員長	主なところを反映できればと思います。
D委員	それだと今まで言った事と別ですね。私が考えていたのは、委員の方の意見を書いて出 すイメージで、シンポジウムの反省をそのまま提言にするということではないです。
委員長	今まで議論した手引書やシンポジウムの意見を活かしてもらうような形で、委員で考え ると、1週間程度はかかると思います。
C委員	あまり具体的な意見を出しても提言書はまとまらないので、今回シンポジウムをやった ことにより、今後も継続的にシンポジウムなどを開催して下さいといった提言で良いと 思います。
A委員	今までの経過を書いてその結果を受けて開催したシンポジウムが良かったので、今後も 継続していただきたいというような形で良いと思います。

G委員	ここまできて、次の段階を考えても消化しきれないので、我々が行ってきた手引書とシンポジウムについて記載すれば良いと思います。次の事は考えるべきでは無いと思います。
委員長	それでは、活かしていただきたいという事をメインとします。提言書という形でのよいでしょうか。
委員長	20日を受けてシンポジストの意見が出てくるので、上手く活用できればと思います。
H委員	これは自主的なまちづくり意委員会ではないですね。町から委嘱を受けて行っていると思いますが、諮問を受けていますか。
委員長	諮問は有りませんでした。
H委員	有れば答申書の中に、諮問に対して今後の要望書について、記載していけばと思います。
事務局	審議会については、一条に諮問が書いて有りますが、まちづくり委員会は要綱なので、諮問についての一行はとくに謳っていません。そのため提言書になると思います。
事務局	提言することがあれば、2年間の活動をまとめていただき、提言書にしていけばと思います。
委員長	実際に具体的な内容について研究し、勉強してきたのでその集大成が、手引書で有り、シンポジウムであるので、それを今後のまちづくりに活かしていただきたいといった内容でいきたいと思います。
事務局	設置要綱に提言をすると記載があります。
委員長	次の会議で決定し、3月中に町長へ提出していききたいと思います。
委員長	事務局でシンポジウムのアンケート結果を終了後に早めにまとめて下さい。
委員長	次回委員会は3月11日(木)18:30~でお願いします。
委員長	ご意見を事前に事務局に送っていただくようお願いします。本日議論いただいたような内容で、具体的なものを羅列するのではなく、委員会の経緯を載せながら、次のまちづくりの為に活かしていただきたいといった程度でいきたいと思いますが、これだけは欠かせないといったものがあれば事務局へ連絡をお願いします。
副委員長	閉会